— わかばジュニア大会規定 —

I. 参加資格 小学4年生以下の選手で編成された、神奈川県下の軟式野球チーム。

II. 注意事項

※1. インフルエンザ等で、学級/学校閉鎖の対象となった子供は、試合に参加させない事。

※2. 大規模災害やそれに準じる事由で、大会を中止せざるを得ない場合、参加費は返還しない。

- ①参加チームはスポーツ保険加入等の処置をこじ、万一の怪我等に備えておく事。
(大会中の事故であっても、主催者側は何等の責務も負いません)
- ②監督・コーチとしてベンチに入る場合は、代理でも必ずチーム・ユニフォームを着用の事。
- ③試合中のグラウンド内は禁煙。指導者の試合中ベンチを抜けての喫煙も禁止する。
- ④審判は持回りで行うので、主審が割当てられても受けられる体制で臨む。
- ⑤子供の人数不足で、近隣のチームと合同で参加する事は可であるが、ブロック会議時に必ずブロック長に伝え、背番号はダブらせない事。また、チーム強化の為の合同チーム参加は不可。
- ⑥学校行事の試合調整は、大会中1回/チームのみ認める。
- ⑦各試合会場への車の乗り入れについてはブロック長の指示に従う事。
- ⑧試合会場にゴミは残さず、全てチームの責任で持ち帰る。
- ⑨大会参加継続については、1年間(2大会連続)連絡がない場合退会とみなす。
退会後に参加するときは新規登録とする。
- ⑩新型コロナウイルス感染についての感染予防対策
・大会期間中、緊急事態宣言等発令された時及びクラスターが発生した際は大会の途中であっても中止することがある。その際、規定通り大会参加費は返還しない。
- ⑪新型コロナウイルス感染に関して、協会は一切の責任を負わないものとする。
- ⑫各チームはベンチ入りする監督、コーチ、選手全員及び応援者の体調確認と体温を測定し、健康管理チェックシートに記録しチームで保管すること。また、会場に到着後ブロック長にチーム全体の健康確認で問題ないことを報告すること。
- ⑬大声を出しての応援は禁止する。

III. 大会ルール

1. チームは、試合開始30分前には試合会場に集合する事。(前審判も同様)これに間に合わない場合は不戦敗になる場合もある。
2. 試合球は「マルSボール」球を使用する。
3. グラウンドに到着したら必ずブロック長に挨拶し、試合開始30分前にメンバー表及び試合球を提出し、攻守決定を行う。監督が代理者の時は、メンバー表の監督名に「代」を記載する。
4. ベンチは、抽選番号の若いチームを1塁側とする。
5. ベース間距離:21m 投手板距離:14mとする。
6. ボーク、インフィールドフライの規定
ブロック予選:ボークは適用せず注意のみ(ノーカウント)とし、インフィールドフライも適用しない。
本部大会:ボーク、インフィールドフライ適用。但し、ボークは1回目注意とし、2回目から適用。
7. 試合は6回までとし、試合開始後80分を過ぎて新しいイニングには入れない事とする。
これを満たして同点の場合は、以下の特別ルールの延長戦を行い勝敗を決定する。
◎0アウト、1・2塁(前打者が1塁、前々打者が2塁)の状態、継続打順で攻撃を1イニング行い、勝敗が決しない場合は○×式の抽選で勝敗を決定する。
また、特別延長に入ってから選手交代は認めない。
8. コールドゲームは、4回以降10点差とする。
◎本大会の特別ルールとして、ブロック戦2回戦までは1イニング打者一巡でアウトカウントに関係なく攻守交替し、進行するので、対戦チームはスコアをしっかりと記録すること(シードチームは1回戦のみ)
◎雨天や特別な事情等、試合の継続が困難と審判が判断した場合は、4回を終了していることで其の試合は成立することとする。
9. ファールボールは、攻守に関係なく各ベンチで速やかに処理して、球審に渡す事。
10. 準備投球は、原則として初回5球以内とし、2回目以降は4球以内とする。(この範囲で主審が決定)

11. 攻守交替は駆け足で行い、試合進行を促進する事。
12. 当日の試合が1試合の場合の審判は、当該チーム同士で行えるものとする。
ただし、主審については公認審判員を当てることとし、2試合以上の場合には交代で行う。
13. 攻撃側は、コーチャースボックスに指導者を1名入れてもかまわない(必ずユニフォーム着用)。
14. 監督の背番号は30、コーチは28・29とし選手を除いてタイムをとれるのは監督(代理含)とする。
15. 守備、攻撃時のタイムの取得は、3回/1試合とする。
16. グランド(ローカル)ルールは、グラウンド責任者(ブロック長)に一任する。
17. 申告敬遠の規定
ブロック予選: 申告敬遠は適用しない
本部大会: 申告敬遠を適用する。
18. 本大会は、投手の投球数制限についての規定は定めない。従い、各チームの責任において管理する。
19. 本大会の準決勝、決勝については、原則ダブルヘッダーで行う。
20. 選手の危険防止及び健康管理には、各チームの責任者が十分注意をし健康安全に責任を持つ事。
本大会の事故・トラブルに対して当協会は、一切の責任を負わないものとする。
21. 大会開催中、アンフェアな行動や無作法な行為のあったチームには、退場または除名処分に付することがありえる。

22. 再出場(リエントリー)

**試合中に体調不良、怪我等で出場の継続が困難となり退いた選手の再出場を
ブロック長、大会本部が認めた時は1試合1回認める。**

但し、自己の元の打順を受け継いだ選手と交代しなければならない。

23. 上記以外のゲーム規則に関しては「公認野球規則・競技者必携」に基づき運用する。

以上